

1 単元の目標等

(1) 目標

- 九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。
- 自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。
- 九州地方において、自然環境を中核に設定した事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができるようにする。
- 九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

(2) 学習の流れ

本単元では、九州地方において、「各地でどのような自然環境を生かした地域づくりの取組が行われているのか」という問いを設定し、地方自治体の取組を調べる学習を行う。問いを追究したり解決したりする活動を通して、九州地方の特色ある自然環境やそれぞれの地域で持続可能な地域づくりに向けた取組があることを理解させる。また、そこに暮らす人々の生活・文化や産業などに関する事象と関連付け、自然環境が人々の生活・文化や産業などと深い関係をもっていることや自然災害に応じた防災対策が地域の課題となることなどについて考察し、表現させていく。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ②自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	①九州地方において、自然環境を中核に設定した事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

3 環境教育で育成する主な資質・能力（ESDの視点）

【ウ 問題を捉え、その解決の構想を立てる能力（未来像を予想して計画を立てる力）】

地方自治体の取組についての調査活動を通じて、九州地方の特色ある自然環境とそれぞれの地域の取組が持続可能な地域づくりに向けた取組であることに気付き、よりよい地域社会の在り方について多面的・多角的に考察する力を育む。

4 環境教育で対象とする主な内容（ESDの構成概念）

【E 共生社会の実現（連携性）】

地方自治体の取組についての調査活動を通して、九州地方の特色ある自然環境とそこに暮らす人々の生活・文化や産業などに関する事象を関連付け、環境の保全や持続可能な地域づくりへの取組、九州地方の人々による自然との共生の在り方について理解する。

5 主なSDGsとの関連



九州地方各地の課題を踏まえ、(目標 9) 地域の産業振興を図り、(目標 11) 全ての世代の人々が住み続けられる地域にするため、様々な社会的事象を関連付けて、考察できるようにしていく。

6 学習指導計画（6時間）

次時	○主な学習活動	□主な支援 ◆主な評価 〈環境教育で育成する主な資質・能力〉
一次 (1)	<p>資料から九州地方を特色付ける地理的事象を見いだす。</p> <p>○地図を基に、九州地方の自然環境を概観し、地形や気候の特色を捉える。</p> <p>○シラス台地の分布と畜産業が盛んな地域の分布から、自然環境と産業との関連について考える。</p> <p>○九州地方の地域的な課題について考察し、学習の見通しを立てる。</p>	<p>□ ICTを活用し、九州地方の地形や気候に関する資料を提示する。</p> <p>◆九州地方の地域的な課題について、学習の見通しを立てることができる。 【態①】</p>
二次 (2~4) (本時)	<p>学習課題「各地で自然環境を生かしてどのような地域づくりの取組が行われているのか。」</p> <p>○第1時で見いだした九州地方を特色付ける地理的事象から、学習課題を設定する。</p> <p>○課題を設定するに当たり、鹿児島県における自然環境を生かした地域づくりの事例を紹介し、他の県についてグループで考察する。</p> <p>○九州地方の都市ごとに地域づくりの取組が異なるため、鉱産資源、火山、温暖な気候といった自然環境の地域的特色に着目し、各地方自治体の取組について調べる。</p> <p>○自分が担当する地域の地域的特色や各地方自治体の取組について、ワークシートにまとめる。</p>	<p>□九州地方の地域的特色を基に、第1時で見いだした特色付ける地理的事象を振り返り、整理する。</p> <p>◆九州地方を特色付ける地理的事象について理解している。 【知①】</p> <p>◆各地方自治体の自然環境を生かした地域づくりの取組について、九州地方の社会的諸事象と関連付けて捉えようとしている。 【思①】</p> <p>〈ウ 問題を捉え、その解決の構想を立てる能力〉</p>

三 次 (5)	<p>九州地方の地域的特色や取組について、考察した過程や結果をまとめ、発表する。</p> <p>○九州地方のそれぞれの地域における自然環境を生かした地域づくりの取組について、まとめたワークシートを基に説明し合い、それぞれの取組の共通点に着目して、持続可能な地域づくりについて考察する。</p>	<p>□調べた地域が異なるメンバーでグループを編成する。</p> <p>□まとめ方について助言し、関連図を作成させたり、白地図に地理的事象の見られる位置や分布、関連する地理的事象などを記入させたりして、まとめさせる。</p> <p>◆持続可能な地域づくりについて、九州地方の社会的諸事象と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 【思①】</p>
四 次 (6)	<p>これまでの学習内容を踏まえ、九州地方を多面的・多角的に捉え、様々な情報を関連付けて考察した九州地方の地域的特色や地域の課題をまとめ、新たな問いを考察する。</p> <p>○九州地方の地域における課題とその課題を解決するための方策を、レポートにまとめる。</p>	<p>◆問いを追究する活動を通して、九州地方の地域的特色を考察することに必要な知識・技能を身に付けている。 【知②】</p>

7 本時の展開例（2/6時間）

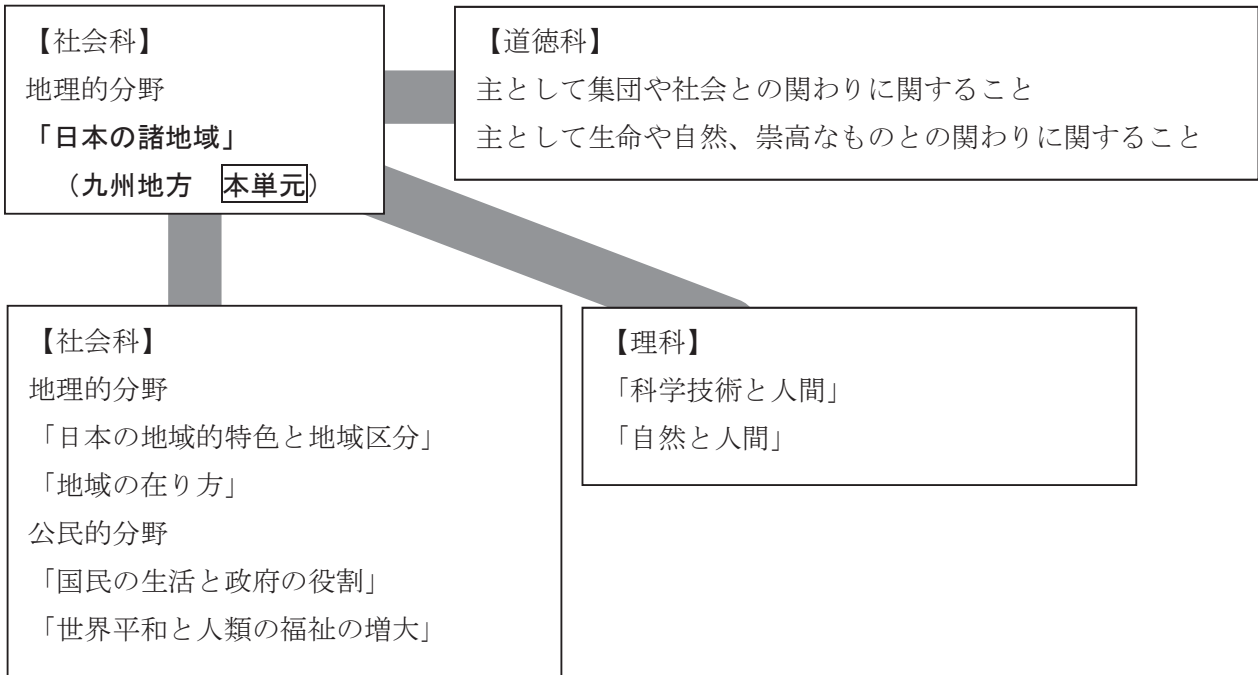
（1）本時の目標

各地方自治体の自然環境を生かした地域づくりの取組について、九州地方の社会的諸事象と関連付けて捉えようとする。

（2）本時の展開

○主な学習活動	□主な支援 ◆主な評価 〈環境教育で育成する主な資質・能力〉
<p>学習課題「各地で自然環境を生かしてどのような地域づくりの取組が行われているのか。」を基に、九州地方の他の地方自治体の取組について、調べる課題を設定する。</p> <p>○第1時で見いだした九州地方を特色付ける地理的事象を振り返る。</p> <p>○鹿児島県和泊町の取組を紹介し、地域の自然環境と産業（観光）との関連について理解する。</p> <p>○九州地方の自然環境の特色と自治体の取組について、各自で調べ、考えをまとめた後、グループで話し合い、課題を設定する。</p>	<p>□和泊町の事例を通して、各自治体の取組と、地域の自然環境と産業や伝統・文化との関連について説明する。</p> <p>◆各地方自治体の自然環境を生かした地域づくりの取組について、九州地方の社会的諸事象と関連付けて捉えようとしている。 【思①】</p> <p>〈ウ 問題を捉え、その解決の構想を立てる能力〉</p>

8 学習のつながり



9 外部人材、地域資源等の活用

- 都内に、九州地方のアンテナショップや東京事務所がある。これらを事前に取材して、資料収集や地域の実態をインタビューしておくといよい。
- 発表の際に、九州地方の各県の職員を招聘、又はテレビ電話等で中継し、アドバイスを受けることも可能である。

10 ホームページ等の資料

- 首相官邸ホームページ ホストタウンの推進について
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/hosttown_suisin/
 - ・和泊町交流計画の概要
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/hosttown_suisin/pdf/Wadomari_Town_gaiyou.pdf